**2020年度　戦略的研究チーム新規提案書【研究期間3年間】**

戦略的研究チームの新規結成に対して研究期間3年間の支援を行う。ただし、研究成果を基にした審議により、支援期間が短くなる場合がある。

受け入れ代表研究者：○○研究院　　○○　○○

**応募区分：　一般　・　若手**

※一般応募の場合は「一般」に、若手の場合は「若手」に○をしてください。

※【若手枠】は、申請時（2020年4月1日現在）、全員47歳未満で構成されるチームとする。

　（外国人研究者を除く）

**重点分野【第一希望分野：　　　　　　　　　　　　　　】**

**【第二希望分野：　　　　　　　　　　　　　　】**

※食料・エネルギー・ライフサイエンスから第一希望分野、第二希望分野を記載すること。

第二希望分野がない場合は「なし」と記載すること。

**1.** **研究課題名**

|  |
| --- |
|  |

**2.研究者一覧**

**【一般枠】本学教員６名以内（受け入れ代表研究者1名を含む）
【若手枠】本学教員４名以内（受け入れ代表研究者1名を含む）全員47歳未満**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏名 | 年齢 | 所属(研究科・専攻等)・職名 | 現在の専門・学位 | 役割分担 |
| 受け入れ代表研究者 |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

【**外国人研究者**】（**外国人研究者1名（雇用1名）以上。上限は設けないが、予算の範囲内で調整してください。）**

**※新規外国人研究者を雇用・招聘する場合には、CVを提出願います。**

**※Research IDを登録し、トムソン・ロイター社データベース（Web of Science (学術文献引用DB) への紐づけを事**

**前に済ませていただけるよう、外国人研究者にお伝え下さい。**

必要に応じ、行を挿入してください。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏名 | 年齢 | 所属(研究科・専攻等)・職名 | 現在の専門・学位 | 役割分担 | **Reseach ID** |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |

**3.研究期間3年間における戦略的研究チームの概要及び外国人研究者招へいによる特筆すべき効**

**果**外国人研究者の招へい・雇用がチームの研究力アップにどのように貢献するか、理解できるように明記すること。及び、その効果を得るために十分な滞在期間が確保されることが望ましい。

|  |
| --- |
| **【2020年度】****【2021年度】****【2022年度】** |

**4.外国人研究者調書**（外国人研究者が複数人の場合は、必要に応じ、行・欄を挿入してください。）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **研究者** | （ふりがな）氏　名Name |  | 生年月日（年齢）Date of birth(Age) | 　　　 Year 　 Month 　　Day　　年　　月　　日Age（　　歳） |
| 所属研究機関・部局・職Research Institution・Academic Unit・Position/Occupation |  | 学位Academic Degree |  | 現在の専門Present Specialty |  |
| 研究室Laboratory | 地区　　号館　　　階　　　室 | 採用時の希望職名（実績審査を行い、正式に職名は決定いたします。） |  |
| **研究業績 Research achievements**本欄には、これまでに発表した論文、著書（教科書、学会抄録、講演要旨は除く。）、産業財産権、招待講演のうち、主要なものを選定し、現在から順に発表年次を過去にさかのぼり、通し番号を付して記入してください。なお、学術誌へ投稿中の論文を記入する場合は、掲載が決定しているものに限ります。Please list major papers, publications (excluding text books, abstracts, lecture summary), industrial property rights, and invited lectures. In sequence from present and number them. Contribution to academic journals is limited to those with final approval for publication. |
| **発表論文名・著書名　等 Titles and authors of Papers, etc..**発表論文の場合、トムソン・ロイター社データベース（Web of Science (学術文献引用DB)の掲載論文で、著者名、論文名、掲載誌名、巻、最初と最後の頁、発表年（西暦）について記入してください。なお、当該外国人研究者の氏名に下線を付してください。For paper publications, please list name of the author(s), paper title, journal name, volume, designating pages, and publication year. Please underline the name of the listed foreign national researcher. |
| トムソン・ロイター社データベース（Web of Science (学術文献引用DB)による論文数、被引用数、平均被引用数、H-Indexを記入して下さい。Please list number of papers, citation index, average citation index, H-index from “Web of Science”(Tomson Reuters).・雇用・招へい実績のある研究者については、GIR支援係で調査したトムソン・ロイター社データベースの業績値（論文数、被引用数、平均被引用数、H-Index）が記載してある調書をそのまま使用することとする。・雇用・招へい実績のない新たな研究者については、各チームで本欄を作成する。 |

|  |
| --- |
| **研究業績（つづき）- Research achievements (Continuation from the last page)** |
| **これまでに受けた研究費とその成果等 Research funds received to date and outcome**本欄には、当該外国人研究者がこれまでに受けた研究費について、研究種目名、期間（西暦）、研究課題名、研究代表者又は研究分担者の別、研究経費額を記入の上、その結果を簡潔に記述してください。Please briefly comment on research funds the listed head researcher received to date: type of research, period, research theme, position (head researcher/co-researcher), research cost and outcome. |
|  |

**5.受け入れ代表研究者調書**（受け入れ代表研究者について記載してください。）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **研究者** | （ふりがな）氏　名 |  | 生年月日（年齢） | 　　年　　月　　日（　　歳） |
| 部局・職 |  | 学位 |  | 現在の専門 |  |
| **研究業績**本欄には、これまでに発表した論文、著書（教科書、学会抄録、講演要旨は除く。）、産業財産権、招待講演のうち、主要なものを選定し、現在から順に発表年次を過去にさかのぼり、通し番号を付して記入してください。なお、学術誌へ投稿中の論文を記入する場合は、掲載が決定しているものに限ります。 |
| 発表論文名・著書名　等発表論文の場合、著者名、論文名、掲載誌名、巻、最初と最後の頁、発表年（西暦）について記入してください。以上の各項目が記載されていれば、項目の順序を入れ替えても可。なお、当該の受入れ代表研究者の氏名に下線を付してください。 |
| トムソン・ロイター社データベース（Web of Science (学術文献引用DB)による論文数、被引用数、平均被引用数、H-Indexを記入して下さい。 |
| **研究業績（つづき）** |
| これまでに受けた研究費とその成果等本欄には、当該受入れ代表研究者がこれまでに受けた研究費について、研究種目名、期間（西暦）、研究課題名、研究代表者又は研究分担者の別、研究経費額を記入の上、その結果を簡潔に記述してください。 |
|  |

**6.研究目的**

本欄には、研究期間を3年間とする研究の全体構想及び本研究の具体的な目的について、次の点について留意し、具体的かつ明確に記述してください。

①研究の学術的背景（本研究に関連する国内・国外の研究動向及び位置づけ、これまでの研究成果を踏まえ着想に至った経緯等）

②研究期間内に何をどこまで明らかにしようとするのか

③当該分野における本研究の学術的な特色・独創的な点及び予想される結果と意義

|  |
| --- |
|  |

**7.研究計画・方法・実施場所**

本欄には、研究目的を達成するための具体的な研究計画・方法・実施場所について、明確に記述してください。研究計画を遂行するための研究体制、その研究組織の必要性・妥当性についても述べ、また、研究期間3年間に目標とする国際共著論文について、記述してください。

|  |
| --- |
| **【2020年度】****【2021年度】****【2022年度】** |

**8.経費計画**

　本研究の経費計画を記載してください。また、必要に応じ行を挿入してください。

**＜2020年度＞**

|  |
| --- |
| **（金額単位：千円）** |
| **費目** | **種別** | **金額** | **積算内訳** |
| 人件費 | 外国人研究者（特任教授（スーパー教授）等） |  |  |
|  | *※作成上の注意を参照願います。* |
| 外国人研究者赴任旅費 | ― |  |  |
|  | *往復分を積算* |
| *以下の費目は1,000千円/年 上限目安* |
| 設備備品費 | ― |  |  |
| 事業実施費 | 消耗品 |  |  |
|  | 国内旅費 |  |  |
|  | 外国旅費 |  |  |
|  | 外国人等招へい旅費 |  |  |
|  | 諸謝金 |  |  |
|  | 会議費 |  |  |
|  | 通信運搬費 |  |  |
|  | 印刷製本費 |  |  |
|  | 借損料 |  |  |
|  | 雑役務費 |  |  |
|  | 光熱水料 |  |  |

*※作成上の注意*

*・積算にあたっては、最小の費用で最大の効果が得られるよう、費用対効果も踏まえた内容となるよう記入してください。*

*・雇用となる外国人研究者は、31日以上の滞日を必須とする。*

*・外国人研究者の招へい（31日未満）も可能とする。*

*・外国人研究者赴任に際し、家族も伴う場合はその旅費も積算してください。（家族旅費支給要件：31日以上の連続した滞日）*

*・外国人研究者に係る人件費（月額の上限額。但し、在留資格取得が必須。）*

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 外国人研究者 | 雇用（31日以上） | 招へい（31日未満） |
| スーパー教授 | 1,250千円 | 900千円 |
| 特任教授(ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝ) | 1,000千円 | 700千円 |
| 特任准教授(ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝ) | 750千円 | 500千円 |

*・2019年度外国人研究者の人件費・赴任旅費は、以下を目安に積算してください。*

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 区分 | 人件費 | 赴任旅費 |
| 一般枠 | 4,000千円/年　上限 | 2,500千円/年　上限 |
| 若手枠 | 1,500千円/年　上限 | 1,250千円/年　上限 |

*・外国人研究者の滞在費はGIR本部予算で負担するため、本欄では計上不要である。*

*・設備備品費は、500千円以上の備品について記入してください。*

*・設備備品費と事業実施費をあわせて1,000千円/年 上限目安で記入してください。*

*※経費については、審査結果を踏まえ配分する額を決定します。*

**＜2021年度＞**

|  |
| --- |
| **（金額単位：千円）** |
| **費目** | **種別** | **金額** | **積算内訳** |
| 人件費 | 外国人研究者（特任教授（スーパー教授）等） |  |  |
|  | *※作成上の注意を参照願います。* |
| 外国人研究者赴任旅費 | ― |  |  |
|  | *往復分を積算* |
| *以下の費目は1,000千円/年 上限目安* |
| 設備備品費 | ― |  |  |
| 事業実施費 | 消耗品 |  |  |
|  | 国内旅費 |  |  |
|  | 外国旅費 |  |  |
|  | 外国人等招へい旅費 |  |  |
|  | 諸謝金 |  |  |
|  | 会議費 |  |  |
|  | 通信運搬費 |  |  |
|  | 印刷製本費 |  |  |
|  | 借損料 |  |  |
|  | 雑役務費 |  |  |
|  | 光熱水料 |  |  |

*※作成上の注意*

*・積算にあたっては、最小の費用で最大の効果が得られるよう、費用対効果も踏まえた内容となるよう記入してください。*

*・雇用となる外国人研究者は、31日以上の滞日を必須とする。*

*・外国人研究者の招へい（31日未満）も可能とする。*

*・外国人研究者赴任に際し、家族も伴う場合はその旅費も積算してください。（家族旅費支給要件：31日以上の連続した滞日）*

*・外国人研究者に係る人件費（月額の上限額。但し、在留資格取得が必須。）*

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 外国人研究者 | 雇用（31日以上） | 招へい（31日未満） |
| スーパー教授 | 1,250千円 | 900千円 |
| 特任教授(ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝ) | 1,000千円 | 700千円 |
| 特任准教授(ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝ) | 750千円 | 500千円 |

*・2019年度外国人研究者の人件費・赴任旅費は、以下を目安に積算してください。*

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 区分 | 人件費 | 赴任旅費 |
| 一般枠 | 4,000千円/年　上限 | 2,500千円/年　上限 |
| 若手枠 | 1,500千円/年　上限 | 1,250千円/年　上限 |

*・外国人研究者の滞在費はGIR本部予算で負担するため、本欄では計上不要である。*

*・設備備品費は、500千円以上の備品について記入してください。*

**＜2022年度＞**

|  |
| --- |
| **（金額単位：千円）** |
| **費目** | **種別** | **金額** | **積算内訳** |
| 人件費 | 外国人研究者（特任教授（スーパー教授）等） |  |  |
|  | *※作成上の注意を参照願います。* |
| 外国人研究者赴任旅費 | ― |  |  |
|  | *往復分を積算* |
| *以下の費目は1,000千円/年 上限目安* |
| 設備備品費 | ― |  |  |
| 事業実施費 | 消耗品 |  |  |
|  | 国内旅費 |  |  |
|  | 外国旅費 |  |  |
|  | 外国人等招へい旅費 |  |  |
|  | 諸謝金 |  |  |
|  | 会議費 |  |  |
|  | 通信運搬費 |  |  |
|  | 印刷製本費 |  |  |
|  | 借損料 |  |  |
|  | 雑役務費 |  |  |
|  | 光熱水料 |  |  |

*※作成上の注意*

*・積算にあたっては、最小の費用で最大の効果が得られるよう、費用対効果も踏まえた内容となるよう記入してください。*

*・雇用となる外国人研究者は、31日以上の滞日を必須とする。*

*・外国人研究者の招へい（31日未満）も可能とする。*

*・外国人研究者赴任に際し、家族も伴う場合はその旅費も積算してください。（家族旅費支給要件：31日以上の連続した滞日）*

*・外国人研究者に係る人件費（月額の上限額。但し、在留資格取得が必須。）*

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 外国人研究者 | 雇用（31日以上） | 招へい（31日未満） |
| スーパー教授 | 1,250千円 | 900千円 |
| 特任教授(ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝ) | 1,000千円 | 700千円 |
| 特任准教授(ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝ) | 750千円 | 500千円 |

*・2019年度外国人研究者の人件費・赴任旅費は、以下を目安に積算してください。*

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 区分 | 人件費 | 赴任旅費 |
| 一般枠 | 4,000千円/年　上限 | 2,500千円/年　上限 |
| 若手枠 | 1,500千円/年　上限 | 1,250千円/年　上限 |

*・外国人研究者の滞在費はGIR本部予算で負担するため、本欄では計上不要である。*

*・設備備品費は、500千円以上の備品について記入してください。*

**9.外国人研究者の来学スケジュール***2020年度における来学予定期間を記載してください。*

|  |  |
| --- | --- |
| 氏名 | 2020年度 |
| 記載例　○○○　○○○ | 7月1日～9月30日 (雇用) |
| 　△△△　△△△ | 10月11日～11月4日 (招へい) |
|  |  |

*2021年度における来学予定期間を記載してください。*

|  |  |
| --- | --- |
| 氏名 | 2021年度 |
| 記載例　○○○　○○○ | 7月1日～9月30日 (雇用) |
| 　△△△　△△△ | 10月11日～11月4日 (招へい) |
|  |  |

*2022年度における来学予定期間を記載してください。*

|  |  |
| --- | --- |
| 氏名 | 2022年度 |
| 記載例　○○○　○○○ | 7月1日～9月30日 (雇用) |
| 　△△△　△△△ | 10月11日～11月4日 (招へい) |
|  |  |

※滞在日数14日未満の招聘は、原則不可となります。やむを得ない事情で、短期招聘の場合、「理由書」を提出、GIR運営委員会にて審議、承認が必要です。